

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671300236
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地
	(電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	平成26年1月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

こじんまりとした家庭的な環境で、その人らしい、できるだけ自立した生活ができるよう、また尊厳ある老後を過ごしていただくよう取り組んでいます。入居者と職員が笑顔で過ごせる雰囲気作りに努め、ご家族とも何でも話せる関係作りに努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・独自の理念を作り、職員が共有し常にケアを振り返り、サービスの基本として取り組んでいる。
- ・地域との係わりは、町内会に入り、地域行事の参加や幼稚園児との交流がある。
- ・身体拘束をしない取り組みに力を入れて、玄間の鍵も日中はせずに利用者が自由に出入りしている。外出希望の利用者は、さりげなく寄り添い、温かい言葉かけなどをしながら支援している。
- ・医療面では、週1回の訪問看護があり、急変時の対応も24時間医療連携体制が整っている。
- ・災害対策は、年2回消防署の指導のもと地域住民も一緒に訓練に加わり、災害対策の設備や備蓄がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を作り上げ、管理者・職員は理念を共有し、理念に基づいた支援が出来るよう努めています。	地域密着型サービスを踏まえた独自の理念で、毎月の会議等で、理念について振り返る時間を取り、常に基本に立ち返り、支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事と一緒に参加したり、散歩の途中でお会いたした時等、声を掛け合っています。	町内会に加入し、百合砂祭やゲートボール大会など地域の行事に参加をしている。幼稚園児との交流で楽しんでいる。事業所の周辺を散歩などして地域住民と話しをしたり、近所から野菜の差し入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	見学の受入れを行い、認知症についての簡単なお話をさせていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回運営推進会議を行い、入居者の状態・運営の状況を報告し、情報や意見を頂き、サービスの向上に努めています。	会議は定期的に行われ、事業所からの報告や外部評価結果報告・行政からの情報・地域からの情報などで、オムツ券の発行など行政からの情報提供もあり、多くの意見が出てサービス向上に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議を年6回にし、入居者の日常の生活状態を報告したりアドバイスを頂いたりしています。、市役所へ出掛けた折、実情を話し意見を伺っています。	市担当者とは、直接行政に出向いて報告や相談をしたり、電話で適切なアドバイスや情報を得る等、連携を密にとっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日々の支援の中で、身体拘束とはどうゆうものかを話し合い、身体拘束のないケアに努めています。法人内での身体拘束委員会の事例資料を参考に、月1回のミーティング毎にホーム内研修を実施しています。	身体拘束について、毎月のミーティング時の検討や法人全体の事例発表を通して、全職員が身体拘束をしないケアに努めている。身体拘束廃止委員会での支援状況の確認をしている。玄関の施錠はせずに、日中は自由に出入りができるようにしている。外出希望の利用者にはさりげなく寄り添い優しく声かけをしながら穏やかに支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常的に、虐待について話題にし、防止に努めています。ホーム内研修では、資料を渡し、話し合いの場を持っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会及び法人内の勉強会やそれに関する資料により、制度についての知識は得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に詳しく説明し、同意を得ています。疑問のある場合はその都度納得するまで説明する旨お伝えしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段から何でも言える雰囲気作りに努め、面会の方、外部の方へも本音が言える環境作りに努めています。窓口に意見箱を設置し、日頃から面会時や交流会等で気軽に相談して頂けるよう話しています。</p>	<p>利用者とはいつでも気軽に話し、意見や要望を聞いている。家族とは、面会時や家族会・行事への参加時に直接話しを聞いたり、言い難い事があれば、電話等で確認したりしている。要望にもとづき気兼ねなく泊まりもできるようにしている。その都度、意見を聞き、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会や日常のサポートの中で、意見や提案は何時でも話せる様にしています。</p>	<p>管理者は職員に対して、日頃から相談に応じている。2ヶ月に1回、自己評価を行い、管理者はアドバイスや助言をしている。休日の希望や勤務についての職員の希望も取り入れている。年2回、管理者が面談をして働く意欲向上に結び付けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>隔月毎に提出される自己評価や個別面談を通じて状況を把握、意見の疎通と指導に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修会への参加、法人内での勉強会を実施しています。又、新人や他部署からの異動時には、同じ勤務帯での勤務指導をしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列の施設やグループホームとの交流等を通じて情報交換をし、相互にサービスが向上するよう取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意向等は日常生活の中で、さりげなくお聞きするようにしています。本人の生活歴や健康状態については、本人や家族の同意のもと、居宅のケアマネや主治医より情報を得ています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談時、ご家族と十分に話をし、要望や不安な事等、お聞きしています。又、面会や電話等で、何時でも何でも相談出来る体制作りをしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族との面談に十分時間をかけ、ニーズに対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者のペースで出来る事はしていただき、献立や下拵え、味見等、アドバイスもお貰ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月の便りで入居者の状態・運営の状況を報告し、情報や意見を頂いています。特に面会時や行事での交流時には、会話を多く持ち、共に支え合う立場である事を理解し合えるようにしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会の受入れ、地域の行事への参加、ドライブ・外食・外泊・買い物・お墓参り等、グループホーム以外の方との関わりが途切れる事がないように支援しています。</p>	<p>知人や友人の来訪があったり、馴染みの理・美容室へ行ったり、散歩や買い物・外食の時に知人等と会い、会話が弾む事がある。自宅へ帰ったり、正月や盆は自宅で過ごしている。家族も受診や墓参り・外食等、一緒に出かけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個性的な入居者が多いので、個性を尊重しながら、入居者同志がお互いを思いやれる雰囲気作りに努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>死亡による契約終了があるときは、スタッフ全員で弔問に出掛けています。他施設入所の方には、散歩やドライブがてら面会に行き、状況を確認し、お会いしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望や意向を尊重し、それに沿った生活が送れるように支援しています。困難な場合は、無理強いしないで、その時の心身の状況に合わせ検討し、支援しています。	一人ひとりの思いを大切に、意向や希望を聞き、既往歴や生活歴・習慣・特徴などを把握して、その人らしく生活ができるように支援している。意思疎通が困難な利用者は、家族や知人・友人の情報等を基に、思いの把握を行って本人本位の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族・担当ケアマネを通して、生活歴や健康状態、利用状況等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活歴等や心身状態を確認し、その人の出来る事、したい事に応じ、無理のないよう有する力を発揮して、一日を過ごして頂いています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族、必要な関係者よりご意見を伺い、本人や家族の意向に沿った計画を作成しています。又、サービス担当者会議で検討し、意見やアイデアも反映させています。	本人や家族の意見や意向を確認し、介護計画を作成している。モニタリングを毎月行い、3ヶ月に1回ケア評価をもとに、見直しをしたり、急変などのときは、その都度計画の見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録は、日々の生活や変化が把握出来る様、具体的に記録され、個別にファイルしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出・外泊・通院・買い物・お墓参り・美容室・選挙の送迎等要望や状況に応じた多機能な対応をしています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議委員・民生委員・行政・消防署等に、グループホームの事を理解していただき、協力していただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>総合病院が協力病院になっているので、いつも安心して適切な医療が受けられます。又、病状に応じた専門病院の受診も支援しています。</p>	<p>本人や家族の要望に応じてかかりつけ医への受診を支援している。他科の専門医の支援もしている。総合医療機関が協力医でもあり、利用者や家族が安心している。週1回、訪問看護との連携が取れており、健康管理の対応もスムーズになっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>H25年9月より、訪問看護ステーション野の花と医療連携を結び、週1回、2時間の定期訪問の実施と24時間いつでも連絡が取れて相談ができ、必要に応じて訪問し、主治医への連絡・連携が出来る体制になっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、面会を多くし、安心して入院して頂けるよう配慮しています。早期退院にむけて病院関係者と連携を密にしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族の意向を伺い、医療関係者や訪問看護師との連携のもと、状態に即した対応を相談し、全員で方針の共有をしています。看取りについての指針や同意書も作成しています。</p>	<p>重度化や終末期についての指針があり、契約時に説明を行っている。重度化になる早めの段階から、家族や医療機関との連携を細かく打ち合わせて、職員全員で共有している。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年2回、消防署の協力のもと、全職員が応急手当や初期対応の訓練に参加しています。苑の看護師が身近な緊急事態への対応の研修も実施しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な訓練を実施し、非常時の避難に対応出来るようにしています。地域の会長さんをお願いして近隣への協力対応は出来ています。又、台風等非常事態が想定される場合は、長期保存可能な食品を準備しています。</p>	<p>年2回、消防署の指導のもと、昼・夜間を想定して訓練をしている。また、津波・台風等も想定して、避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報システム・消火器等を設置している。災害時の連絡体制で隣接している特別養護老人ホームからも応援が来るようになっている。地域住民の協力も得ている。災害時の食品の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を尊重し、言葉掛けや対応等に配慮し、誇りやプライバシーを損なう事がないよう心掛けています。	人格や尊厳を大切に、その人らしく穏やかに暮らすことができるように、サービス向上委員会が中心になり、事例報告会などで認識を深め実践に反映している。日頃の言葉使いや入室時のノック・入浴時にタオルをかけたたり、配慮しながら支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方に合った聞き方や説明の仕方を職員間で共有し、入居者が希望の表出や自己決定が出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づいて、一人ひとりが主役である事を念頭に置き、その人のペースで生活出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は自分で選べる方には選んで頂き、支援が必要な方は一緒に選んだり、助言しています。理美容については、馴染みの店に行かれたり、美容師の方に月1回来て頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下拵えや味見、盛り付け等を個々の力に応じて、していただいています。下膳を自らされる方が3名います。	入居者の好みや希望を取り入れた献立で、行事食や外食をしたり、たこ焼きやお好み焼きなどを作り、楽しく食事ができるように工夫している。もやしの根切りやさやエンドウ・つわなどの皮むきや簡単な下ごしらえや下膳等を職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェックにより状態を把握しています。栄養のバランスについては野菜を多くし、栄養面を考慮しながら献立を工夫しています。年に一回献立を苑の管理栄養士に見てもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後、就寝時に自分で可能な方には声掛けし、見守りにて口腔ケアを支援しています。その他の方には、力に応じて口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレでの排泄ができるようにしています。便秘気味の方には、食材等を工夫して、気持ち良く排泄出来る様にしています。	排泄パターンや習慣を個別に把握して、適切なトイレ誘導で排泄の自立支援をしている。リハビリパンツから布パンツへ改善した事例がある。重度化も進んでいるが、可能な限り、トイレ誘導を行い、日中は布パンツの使用で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や食材の工夫、水分等に留意し、出来るだけ自然排便に取り組んでいます。薬による排便を実施せざるを得ない方もいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックを行い、安定している方には、入浴の意向を伺いながらお誘いしています。気分が向かない方には、時間や日をずらす等、無理強いせずに声掛けに工夫しています。	入浴は週3回を基本にしているが希望があれば、臨機応変に対応している。風呂湯の交換や掃除はその都度行い、清潔な風呂で入浴できている。入浴剤を入れたり、保湿剤の使用もしている。入浴をいやがる利用者には、職員を入れ替えたり言葉かけの工夫をしている。次の日に入る時もある。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活パターンを大事にし、意向を伺いながら、自由にお部屋で休養して頂いたり、ホールのソファで寛いだりしていただいています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用等については、病院や薬局からの説明書で理解しています。いつでも見れるよう薬箱の横に置いてあります。病状の変化については、日常的に観察しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの得意な事、出来る事、したい事をして頂く機会を作り、楽しみや張り合いを持って生活されるよう支援しています。短歌に取り組んでいる方や塗り絵をされる方もいます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩やドライブ、隣接している苑での慰問等、ご希望に沿った外出が出来るよう支援しています。ドライブ等は行きたい所を聞いたり、弁当持参で出掛けたりもします。ご家族と食事に出掛ける方もいます。</p>	<p>体調や天候を見ながら近隣の散歩をして、近所の住民と挨拶や話しができる機会を作っている。弁当を作り持参して公園で食べたり、家族と外出して、受診や墓参り・外食などを楽しんでいる。家族は外出先での写真を撮り、便り「ひだまり」に掲載している。車椅子対応の利用者は、併設されている施設の車両を使用し、全員で外出している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>事務所で管理し、それぞれの力に応じて買い物や必要に応じて渡しています。又、ご自分でお小遣いを管理されている方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は、希望時や必要な時には何時でも出来るようにしています。こちらからご家族に用事のある時にも入居者の方とも代わってもらっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファの数を増やしたり、思い思いの場所でゆっくり寛いでもらっています。又、季節感を味わえる草花を飾ったり、飾り付け等、工夫しています。音や光等にも心配りしています。	リビングは、木造の和風造りで広く、採光を取り入れ、温度や湿度なども調整されている。季節感を味わえるような飾り付けがあり、目で楽しむことができる。ソファがあちこちに置いてあり、好きな場所でくつろげるようになっている。自宅のような雰囲気でも和やかに過ごす事ができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同志、談話されたり、落ち着かれる場所へ行って座ったり、部屋で一人でテレビ視聴したり、思い思いに過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等を持って来て頂き、居心地良く過ごして頂けるよう工夫しています。	利用者や家族と話し合い、家で使っていたテレビや冷蔵庫・仏具・椅子など、馴染んできた物が持ち込まれている。整理された中、落ち着いた個別的なその人らしい部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能や力に応じ、ベッドの高さを調整したり、タンスの向きを変えたり工夫しています。又、トイレや浴室の手摺も使い勝手の悪い物は、専門家と相談して取り替えています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない